

鹿屋体育大学開学三十周年記念事業募金趣意書

国立大学法人鹿屋体育大学は、昭和56年10月1日に「鹿屋体育大学」として開学し、昭和59年4月に体育学部体育・スポーツ課程及び武道課程に第1期生を迎えて開講し平成16年4月の法人化を経て、平成23年に、開学から数えて三十周年の節目を迎えることとなりました。鹿屋体育大学が今日まで着実に発展を遂げることができましたことは、先輩諸氏の努力もさることながら、地域や関係機関のご支援、ご協力の賜物であります。厚くお礼申し上げます。

近年の国際的な競技大会での我が国選手の成績不振や、子どもの体力・運動能力の低下、高齢化社会の到来などを背景に、我が国選手の国際大会での活躍、児童生徒の学校や地域における体力向上の取組みの推進、運動による健康づくりへの要求が質的・量的に高まってきております。このため、本学では、学内プロジェクトとして、TASS (Top Athlete Support System) プロジェクト、PALS (Promotion of Active Life Style) プロジェクト、貯筋（筋肉を貯える貯筋）運動プロジェクトを立ち上げ、競技力向上のための具体的方策の提案や、運動による心身の健康の保持増進に関する研究を、地域社会との連携・協力のもとに推進するとともに、「動ける日本人育成」を目指した子供から老人までの生活機能アップのための「家庭でできる筋力トレーニングプログラム」の振興を進めております。

このたび、鹿屋体育大学開学三十周年を迎えるに当たり、本学が開学以来、体育学を専門とする教育研究においてどのような成果をあげてきたのか、本学の教育研究が社会に果たしてきた成果と役割、現状を、関係資料や映像を用いて展示し、学内外に向けて広く社会に発信するため、開学三十周年記念事業として「NIFSスポーツ文化ギャラリー」を設置することや記念誌の編纂等を執り行うことは、「人間と運動に関する新たな学術・文化の創造」という本学の基本理念のもと、その充実・発展のためにまことに意義深いことと考えられます。

ここに、鹿屋体育大学開学三十周年記念事業実施委員会を組織し、次の記念事業を行うことといたしました。

1. NIFSスポーツ文化ギャラリーの設置
2. 三十周年記念誌の編纂
3. 体育・スポーツ事業の実施
4. 記念式典及び記念講演会の開催

これらの諸事業を実施するため、教職員、卒業生諸氏はもとより、広く財界その他各方面にお力添えをいただきたく、格段のご協力を賜りますようお願いいたします。

平成23年4月吉日

国立大学法人鹿屋体育大学長
鹿屋体育大学開学三十周年記念事業実施委員会委員長
福 永 哲 夫

鹿屋体育大学同窓会長
鹿屋体育大学開学三十周年記念事業実施委員会委員
濱 田 幸 二